

## 起源不明であった犬の腹腔内血管肉腫の1例

○浅枝英希, 小出和欣, 小出由紀子, 矢吹淳 (小出動物病院・岡山県)

### 【はじめに】

血管肉腫は脾臓でもっとも多く報告されているが、血管内皮由来のため体のどの部位においても発生する可能性はある。血行性に急速に転移を起こし、一般に皮膚真皮以外の部位から発生した場合予後は不良である。今回、食欲低下を主訴に来院し、右腎の尾側、膀胱の右頭側付近に形成された血管肉腫に対して外科手術と化学療法を用いた症例に遭遇したのでその概要を報告する。

### 【症例】

チワワ, 去勢済み雄, 11歳7カ月齢

食欲不振を主訴に他院を受診し、検査で貧血, 低蛋白血症を確認。更なる精査・治療を目的に当院を紹介受診した。

#### ◎ 初診時臨床検査所見

体重4.80kg (BCS:3.5/5), 体温38.2°C

身体検査にて, Levine I /VIの収縮期雑音, 可視粘膜の蒼白, 腹部皮下内出血, 腹部圧痛, 下顎・膝窩リンパ節の軽度腫大を認めた。

CBCでは, RBC, Hb, PCVの低下を認め, 網状赤血球は軽度の増加を示していた。また血清鉄は軽度低下, TIBCは正常値であった。他のCBC所見としては, 分葉核好中球, 単球の増加を伴う総白血球数の増加を認め, 好酸球の減少も確認された。また, 血小板の軽度減少を認めた。他の凝固系検査では, AT-IIIの軽度低下を認めた(表1)。

血液化学検査では, TPの軽度低下, AST, ALP, GGT, Glu, BUN, CKの軽度上昇を認めた。CRPは軽度上昇しており, 甲状腺ホルモンの低値も認められた(表2)。

単純X線検査では, 腹部右背側付近に鶏卵大の腫瘤様陰影を認めた(図1)。

腹部超音波検査では, 表面不整で, 混合性エコーパターンを示す腫瘤を右腎臓尾側部付近に認めた(図2)。また, 腫瘤内は血流を一部で認めたが, 全体的には乏しかった。

#### ◎ 診断および治療

入院下にて, 抗生物質, H<sub>2</sub>ブロッカー, 水溶性複合ビタミン剤, 鉄剤の静脈内投与ならびに乳酸リンゲル液の静脈内持続点滴を行った。同日, 輸血を100ml実施し, 第2病日CT検査を行った。第2病日のPCVは33%であった。単純CTで, 膀胱の右頭側付近に肝臓や筋組織と同程度のCT値を示す腫瘤を認めた。造影CTでは, 腫瘤の尾側部一部のみ造影増強が認められ, 腫瘤は尿管と密接していた(図3~7)。そのため, 尿路の評価を行うため造影剤投与10分後に排泄相の撮像も行ったが, 尿管の閉塞は認められなかった。また胸腔内, 腹腔内に転移を疑わせる所見は認められなかった。

第4病日に腫瘤摘出を目的とした外科手術を行った。また, 術中輸血を100ml実施した。腹部正中切開によりアプローチすると, 皮下の出血と後腹膜下血腫を認めた。右腎尾側の腫瘤周囲を綿棒で剥離し, 尿管に臍帯テープを装着し, 腫瘤の摘出を行った(図8)。摘出後, 超音波外科吸引装置を用い周囲血腫の吸引を行った。また, 肝臓に結節病変を確認し, 同部位の肝生検を行った。最後に腹腔洗浄を行い, 止血を確認した後, 常法に従い閉腹した。病理組織学的検査にて, 腹腔内腫瘤(図9)の大部分は出血であり, 一部辺縁で紡錘形細胞がスリット様構造を示し, 血管肉腫とのことであった。また肝臓は結節性過形成であった。

術後は術前同様の治療に加え, 鎮痛薬として術後24時間は塩酸モルヒネ, 術後2, 3日に塩酸ブプレノルフィン, また持続点滴維持液内にメシル酸ナファモスタット, ダルテパリンナトリウムを添加し, 投与した。鉄剤の投与は術後2日に終了とした。術後一過性の元気食欲の消失をみたが, 術後5日より食欲の安定を認め, その後は経過良好に推移した。術後12日にドキシソルピシン1mg/kgを投与し, 術後16日に退院とした。その後, 他院にて3週間毎のドキシソルピシン投与は継続したが, 術後3カ月を過ぎた頃に腫瘍の再発が確認され, 第167病日, 死の転帰をとった。

表1 初診時血液一般検査所見

|                             |       |                            |          |
|-----------------------------|-------|----------------------------|----------|
| RBC ( $\times 10^6/\mu l$ ) | 2.99  | Icterus Index              | $\leq 2$ |
| Hb (g/dl)                   | 7.3   | Hemolysis                  | -        |
| PCV (%)                     | 22    | M f & F - A g              | -        |
| MCV (fl)                    | 73.6  | Plat ( $\times 10^3/u l$ ) | 138      |
| MCH (pg)                    | 24.4  | HPT (sec)                  | 16.8     |
| MCHC (g/dl)                 | 33.2  | APTT (sec)                 | 14.5     |
| WBC (/u l)                  | 26000 | Fib (mg/dl)                | 287      |
| Band-N                      | 260   | AT III (%)                 | 80       |
| Seg-N                       | 22100 | FDP (ug/ml)                | 3.5      |
| Lym                         | 2080  | Ret (%)                    | 3.4      |
| Mon                         | 1560  | Fe (ug/dl)                 | 53       |
| Eos                         | 0     | TIBC (ug/dl)               | 332      |

表2 初診時血液化学検査所見

|                                |      |                           |       |
|--------------------------------|------|---------------------------|-------|
| TP (g/dl)                      | 5.1  | CK (U/l)                  | 410   |
| Alb (g/dl)                     | 2.9  | Ca (mg/dl)                | 9.1   |
| TBil (mg/dl)                   | 0.4  | P (mg/dl)                 | 4.8   |
| AST (U/l)                      | 57   | Na (mmol/l)               | 140.6 |
| ALT (U/l)                      | 68   | K (mmol/l)                | 3.57  |
| ALP (U/l)                      | 336  | Cl (mmol/l)               | 104.0 |
| GGT (U/l)                      | 9    | pH                        | 7.366 |
| NH <sub>3</sub> ( $\mu g/dl$ ) | 34   | HCO <sub>3</sub> (mmol/l) | 22.7  |
| Glu (mg/dl)                    | 190  | Cortisol( $\mu g/dl$ )    | 4.29  |
| TCho (mg/dl)                   | 188  | T4 ( $\mu g/dl$ )         | 0.47  |
| Amy (U/l)                      | 472  | ft4(pmol/l)               | 1.18  |
| BUN (mg/dl)                    | 32.8 | CRP (mg/dl)               | 1.40  |
| Cre (mg/dl)                    | 1.0  |                           |       |

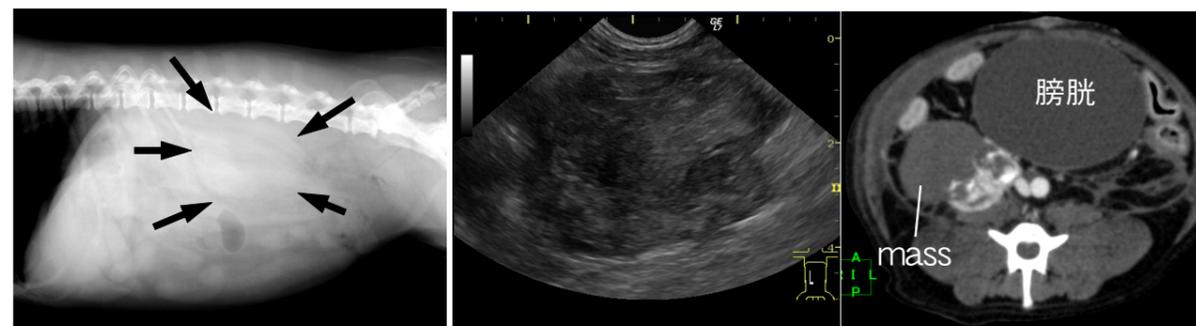


図1 腹部単純X線検査所見

図2 腹部超音波検査所見

図3 造影CT所見(アキシャル像)

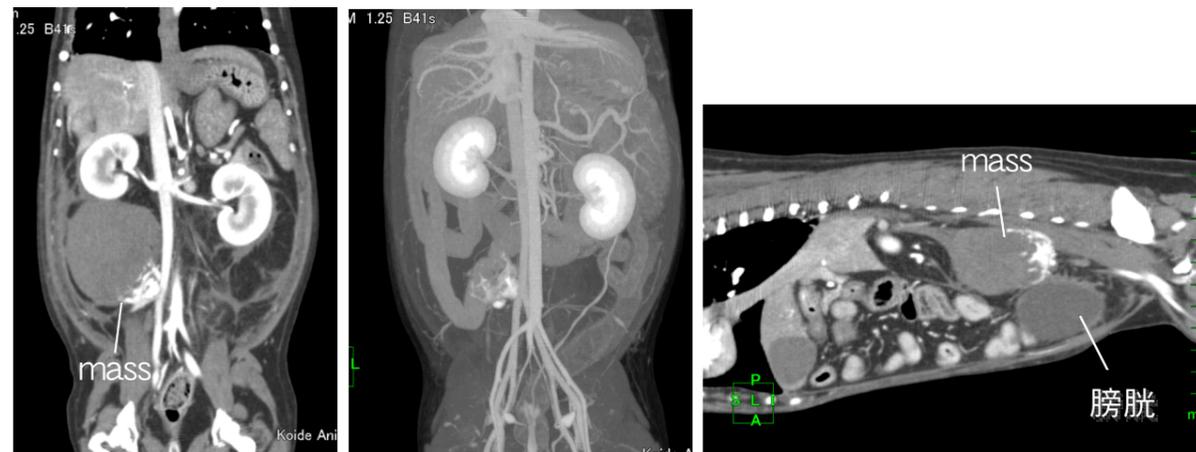


図4 造影CT所見(コロナル像)

図5 造影CT所見(MIP像)

図6 造影CT所見(サジタル像)



図7 造影CTA所見

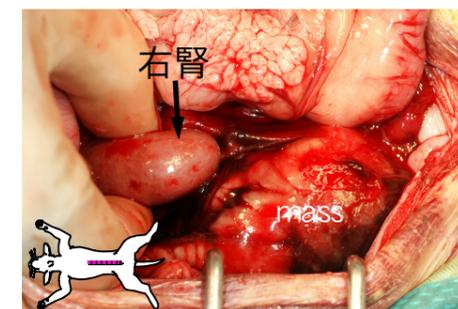


図8 手術所見



図9 摘出した腫瘍

